

＜ もくじ ＞	
1. 時に想う	1
2. 今年度連続講座受講受付開始のお知らせ	2
3. 北海道拠点の新研究会「北海道部会」創設のお知らせ	2
4. 研究会からのお知らせ	3
5. 各研究会の概要報告	3～4
6. 事業紹介イベント開催のお知らせ	5

## 1. 時に想う

### ～ 参議院選挙が終わりました ～

参議院選挙の結果に対して、皆様はどのような感想をお持ちでしょうか。ある程度、予想されたこととはいえ、与党が軽々と3分の2の壁を破ってしまうとは想定外でした。もう少し野党に票が入ると思ったのですが。

選挙運動期間中は、もっぱらアベノミクスを前面に押し出していた安倍晋三首相は、選挙が終わったとたんに、憲法改正を口にするようになりました。もともと安倍首相にとって、憲法改正は祖父の岸信介元首相以来の悲願でもありました。選挙に勝って、堂々と改憲を唱えるようになったのです。



今回、初めて国政選挙に参加した18歳、19歳の過半数が、与党を支持していました。彼らは、憲法改正よりも、雇用や経済の動向に関心が高いようです。若者の半数近くが非正規雇用、社会保障の将来がまったく不透明、大学を卒業しても奨学金という名のローン返済に追われるという現実を見れば、無理もないかもしれません。

60年、70年安保の頃は、年齢が上がるほど保守化する傾向が見られましたが、今日では、年齢が上がるほど野党支持が増えるという傾向にあります。若者たちは、現状に必ずしも満足はしていないが、現状を大幅に変えたくはないようです。

昨年の安全保障関連法の成立に引き続き、憲法が改正され、国防軍が創設されるようになれば、戦場に赴くことになるのは若者たちです。こうした危険性には、あまり気が付いていないのでしょうか。

自民党の憲法改正草案を見ると、個人の自由や権利には大幅な枠がはめられることは明らかです。第二次大戦後、日本国憲法の成立や民法改正によって手に入れることができた個人の自由や権利が奪われようとしています。国家の維持安定のために家族や個人が存在するという戦前の日本に逆戻りさせないために、今こそシニアは立ち上がらなければなりません。

憲法改正には国民投票が必要です。そもそも国民投票という事態にもっていかないよう政府の動きにブレーキをかけなければなりません。もし国民投票ということになった場合には、絶対に支持が有効投票の半数を超えることのないよう力を尽くしたいと思います。

2016年盛夏 袖井孝子（シニア社会学会会長）

## 2. 今年度連続講座受講受付開始のお知らせ

本年（2016年度）の連続講座について開催概要と受講受付開始をお知らせいたします。ご好評をいただいていた銀座資生堂を会場とする開催は今回シリーズが最後となります。奮ってご参加いただけますようご案内いたします。来年度は新たな会場での開催を予定しております。

例年通り、参加は各回ごとに自由にお選びいただけます。従来と同様、6回全講座の一括申し込みも割引参加費にてお受けします。概要につきましては、別途添付いたしますチラシもご参照ください。今後は、ホームページでも随時お知らせします。

### 《 2016年度 連続講座・銀座サロン最終シリーズ開催のお知らせ 》

#### 1) 全体テーマ：『人生、いつでも、いつからでもスタート』

平均寿命が男女とも80歳を超え、人生の後半部分がかつてないほど長くなりました。これまでの日本社会では、一つの会社に勤めあげ、定年を迎えれば隠居生活というのがお決まりのパターンでした。昔と違って現在の高齢者は心身ともに若く、7掛け、8掛けと言ってもいいほどです。人生二毛作、三毛作も夢ではありません。新しいことにチャレンジして、新しい人生を切り拓いてみませんか。

#### 各回テーマと講師

- ・第1回 2016年9月17日（土）  
「人生、いつでも、いつからでもスタート」（袖井孝子）
- ・第2回 2016年10月22日（土）「がんから100キロマラソン復帰」（大久保淳一）
- ・第3回 2016年11月12日（土）「老婚の光と影」（坂本洋子）
- ・第4回 2016年12月3日（土）「生涯学習のすすめ」（中村昌子）
- ・第5回 2017年1月14日（土）「ICTへのチャレンジ」（森やす子）
- ・第6回 2017年2月18日（土）「減築とリフォームで明るい未来を」（天野 彰）

2) 場 所：東京銀座・資生堂 9Fホール

3) 開催要領：各回とも、14時～16時の開催。募集人数は最大45名。

各回の参加費は、会員2,500円、非会員3,000円。

6回分一括前納の場合、会員12,000円、非会員15,000円。（8月末締め切り）

※今後ともJAAS Newsなどで随時お知らせいたしますが、ご家族やご友人などにもお声掛けいただき、多数の方のご参加をお願いいたします。（事務局担当 鈴木）

## 3. 北海道拠点の新研究会「北海道部会」創設のお知らせ

この度、当学会団体会員の一つ「一般財団法人 人材支援機構」の代表理事の竹川勝雄さんの呼びかけで、一般社団法人シニア社会学会で活動する研究会の6番目として、北海道における高齢社会を切り拓く研究、啓発活動を行う北海道部会が発足致しましたのでお知らせいたします。北海道在住の志を同じくする人びとにより、袖井孝子会長宛に要望書が提出され、7月13日（水）の運営委員会において承認されました。名称は北海道部会となっておりますが、他の研究会と同等の資格で研究活動を行い、研究会開催案内、研究会概要報告などの記事を、JAASNewsに掲載していく予定です。役員の方々は、以下の通りです。

部会長：小寺正史（弁護士）

副部会長：井上 晃（企業経営者）、駒川智子（北大准教授）

幹 事：滝口 良（研究担当）、氏家参三（総務担当）、田中雅之（企画担当）

顧 問：竹川勝雄（当学会理事）、筑和正格

なお、お問い合わせは、竹川勝雄（takekawa@f7.dion.ne.jp）までお願い致します。

## 4. 研究会からのお知らせ

### (1) 第35回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2016年7月28日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：濱口座長のレクチャー：「格差と貧困」とは何か — 生産、消費、配分チャートを用いた考現学的考察—
- 4) 参加費：300円  
\*お問い合わせは、事務局・島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) 迄お願い致します。

### (2) 第96回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2016年8月3日(水) 18:00~20:00
  - 2) 報告者：坂本 純一(野村総合研究所)
  - 3) テーマ：「公的年金制度の持続可能性」
  - 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室  
東池袋1-44-3 池袋 I SPタマビル 8階
- ※ご質問がございましたら、佐藤まで。090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

### (3) 第1回「北海道部会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2016年8月25日(木) 18:00~
  - 2) 場 所：大通西10丁目、南大通ビル2階会議室
  - 3) テーマ：初会合ですので、研究会参加の皆さまの顔合わせの懇親を中心に、参加者のテーマの簡単なご報告をお願いします。
  - 4) その他：竹川 勝雄監修『シニアが拓く未来』(美巧社)2014を配付致します。
- ※ お問い合わせ、参加申込は、北海道部会・竹川勝雄 (takekawa@f7.dion.ne.jp) までお願い致します。

### (4) 「シニアのICT活用研究会」の開催について

\*研究会は休会中であり、再開が決まり次第改めてお知らせします。

## 5. 各研究会の概要報告

### (1) 第34回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2016年6月16日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：濱口座長のレクチャー：「河上肇『貧乏物語』(岩波文庫)からの話題提供  
濱口座長は日ごろから今日の社会情勢をみる時、古典に学ぶことが大切であり、河上肇著『貧乏物語』は、格差と貧困について基本的な問題提起をしている。そしていま、「持続可能な社会」について格差と貧困はどういう意味を持っているのか考える時であると述べられた。

### (2) 第32回「災害と地域社会」研究会の概要報告

- 1) 日 時：2016年6月29日(水) 18:30~21:20
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス33号館3階第1会議室
- 3) 報告者：川副早央里(早稲田大学大学院文学研究科社会学専攻博士後期課程)
- 4) テーマ：「原発避難者の受け入れと難民問題の比較試論—ドイツ短期留学の体験を踏まえて—」

川副早央里さんは、福島県いわき市で3年にわたって住み込み、現地での社会学的調査研究に取り組む一方では、地域の人々の震災時の記録を残し、整理して復興のために活用してもらうアーカイブプロジェクトの活動にも主導的役割を果たしてきました。また、原発事故の影響でいわき市に避難してきた同じ福島県内の人々と、地元の住民の間に生じた諸問題についても詳しく調査されており、その結果を2014年に横浜で開催された「国際社会学会（ISA）」で報告したところ、その内容に興味を持ったドイツの研究者から、2015年の12月から2016年3月までのドイツへの3か月の留学のチャンスを与えられました。その期間に、いわき市の報告をする傍ら、ドイツへの難民について、現地での自らの観察、ドイツの研究者や他の国の友人たちからの情報収集や意見交換により、いわき市での原発事故避難者といわき市民の関係、ドイツの地元民と世界各地から集まる難民との関係について、そこに見えてくる共通点と相違点を比較し、とくに現代社会において、異質な人々が新たに入居することによって生じる問題の普遍的焦点を、「否定的な類型化」という概念を用いて絞り込み、問題の所在を明らかにするためのヒントを提示してくれています。これは、新しく来る人々の立場と、地元に住む人々の立場のどちらにもそれぞれ異なる側面があることを踏まえ、さらにそれらの組み合わせによって、相互に相手をどのようにネガティブに類型化するかを考察しようとしたところに特徴があります。つまりグラジュアルな類型化（相互に尊重）であるか、カテゴリカルな類型化（相互に排他的）であるかによって、相互の対立が和らいだり強化されたりする点に注目しており、発表当日は、社会学、ジェンダー論、法律論など、様々な立場の人からの質疑応答によって、議論が大いに盛り上がりました。

（長田記）

### （3）第95回「社会保障」研究会の報告

- 1) 日 時：2016年7月6日（水） 18:00～20:00
- 2) 報告者：廣瀬 真理子（東海大学教養学部 教授）
- 3) テーマ：「オランダの高齢者医療・介護政策の動向」
- 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室  
東池袋1-44-3 池袋 I SPタマビル 8階

オランダの福祉国家は、その整備期においては所得再分配効果の高い社会保障制度を築き上げた一方で、宗派別に形成された独特の社会構造を基盤として、伝統的な民間非営利主導の医療・福祉サービスの供給体制が構築された。このような点から、オランダはしばしば、国際比較の類型論において、北欧と大陸の特徴をあわせ持つ混合型の福祉国家として紹介されている。

しかし、低経済成長下での高齢化の進行や、加盟国としてEUと歩調を合わせるために財源確保が大きな課題となり、オランダにおいても高齢者医療・介護保障制度は、近年、引き締められる方向にある。具体的には、民営化による皆保険制度の導入ともいえる短期医療保険制度の改正や、地方分権化を基盤とした社会支援法にもとづく社会福祉改革が行われた。また、昨年には、日本でいえば介護保険制度に当たる長期医療・介護保険制度も改正され、急進的な改革が次々と展開されている。

日本では、介護保険制度改革の柱として「地域包括ケアシステム」が重視されているが、オランダでは「参加型社会」をキーワードにした「改革」が進められつつある。また、軽度者へのサービスを介護保険制度から除外するような改正や、在宅ケア重視、家族介護への期待なども両国の改革に共通しているといえる。

こうしてみると、近年の高齢者医療・介護政策の改革動向を比較・検討する際に、オランダの制度・政策をたんに先進事例として取り上げて、良い面ばかりを強調するのではなく、より冷静に、制度・政策の背景や、改革の影響なども含めた考察が必要であることが指摘された。

（廣瀬真理子 記）

## 6. 事業紹介イベント開催のお知らせ

### 黎明会助成事業：実施地域（江戸川区）での事業紹介イベント開催

今年度、シニア社会学会は黎明会の助成事業（ICT を活用した高齢者の社会生活支援に関する調査研究）を江戸川区葛西地区を中心に実施しております。WAM 事業で使用した情報端末機器（VoViT）と生活環境（温度・湿度・照度）を見守るセンサー機器を利用し、日常の高齢者社会生活支援の活動の中でのICT 利用の可能性の調査研究を進めております。

このたび、実施地域で本事業の紹介イベントを下記のように開催いたします。地域の皆様はじめ、関心をお持ちの多くの方々の参加をお待ちしております。

< 記 >

- 1) 日 時：2016年8月23日（火） 13：30～15：30
- 2) 会 場：清新町コミュニティー会館 1階 第2集会室（最大30名）  
江戸川区清新町1丁目2番2号  
東京メトロ「西葛西駅」から1キロ 徒歩20分
- 3) 参加費：無料
- 4) 内 容：・地域の見守り活動へのICT 活用方法  
・ICT 機器の概要紹介とこれまでの事業の経過から見えた事の紹介 他
- 5) 申し込みは、担当（当学会理事・森）まで、8月20日締め切り  
・お名前・連絡先（メールアドレス等）を記載の上、  
・メール（moriyasu@ied.co.jp）またはFAX（03-3806-0195）まで

**事務局は、8月12日（金）～8月18日（木）までクローズとなります。**

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
eメール：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL：<http://www.jaas.jp/>